

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大 阪 市 立 大 成 小 学 校

児童数

31

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	19.38	18.77	30.77	38.36	52.00	9.61	145.71	21.50	52.00
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	19.06	18.07	43.47	39.53	39.19	9.55	150.93	14.47	58.47
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

男子は、8種目中の3種目で、女子は、8種目全てで、大阪市、および、全国を上回ることができた。

体力合計点は、男子は、大阪市を上回ることができ、女子は、全国、および、大阪市を大きく上回ることができた。

「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」という質問に対して、男子は、全ての児童が、「好き」もしくは、「やや好き」と肯定的に回答して、大阪市、および、全国を上回ることができた。一方、女子は、「好き」と回答した児童の割合が、大阪市、および、全国を上回ることができた。

1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は、男子は、大阪市、および、全国を下回ることができたが、女子は、大阪市、および、全国を上回った。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

これまで、体育主任を中心として、各学級担任が、「体づくり運動」を体育の学習に取り入れたり、体育的行事の創意・工夫をしたり、また、トップ・アスリートによる「夢・授業」に毎年度、応募したりして、本校の児童の体力、運動能力・運動習慣の向上に励んできた。今年度の5月から、「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策」が緩和されて、さまざまな活動に取り組むことができるようになった。

引き続き、体育主任を中心として、組織として、さまざまな取り組みを充実・発展させて、本校児童、男子、女子、ともに、大阪市や全国を上回る体力、運動能力に向上させることが、今後の課題である。